

令和3年度「精華町子育て支援アプリ(母子モ)」について(新規事業)

(目的)

少子化・核家族化による地域のつながりの希薄化、共働き家庭の増加・就労環境の多様化、インターネットの普及等により、子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化している。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により乳幼児や保護者が安全安心に集える場の確保が困難となり、地域の子育て情報が入手しにくい状況が課題となっている。そこで、子育てに関連する情報をより身近に、わかりやすく提供するため、母子保健や子育て支援に特化したスマートフォンアプリ(以下、「アプリ」と呼ぶ)を提供し、地域の子育て情報がより簡便に取得できる環境を整備する。

また、多言語機能が付随しており、外国人家庭にも幅広く対応できる。さらに、乳幼児健康診査の通知や予防接種のスケジュールリングや成長発達の記録・管理機能もあり、未受診を防ぐ目的としても活用できる。

事業内容

1. 導入アプリ

母子手帳オンラインアプリ「母子モ」

2. 住民が利用するにあたりかかる費用

無料

3. 導入によるメリット

- ① 妊娠期から子育て期にわたる地域の子育て情報のタイムリーな発信が可能
- ② 感染拡大時等イレギュラーな事態が発生した際の適切な情報発信ができる
- ③ 多言語機能が付随しており、外国人妊産婦とその家庭にも対応可能
- ④ 乳幼児健康診査・予防接種のスケジュールリングや記録・管理が可能、また本アプリを導入していない自治体への転出時であっても本機能活用が継続できる
- ⑤ プッシュ通知機能の活用で乳幼児健康診査や予防接種の未受診の防止が可能
- ⑥ 母子健康手帳を所持しなくても情報を把握・管理することができ、災害時等緊急事態にも対応可能



4. 情報発信内容

- ①母子保健や子育て支援に係る事業やイベント及び地域の子育て情報の発信
- ②予防接種に関する情報発信

*本アプリの運用・普及の状況により、妊娠期から子育て期にわたる手続きや保護者を対象にした健（検）診の案内等、随時追加して情報発信していく予定。

5. アプリ啓発方法

別添 QR コード付きチラシにてアプリの取り込みを行う。

啓発場所：①母子健康手帳交付時 ②乳幼児健康診査受付時 ③子育て支援センター来所時や事業開催時 ④ホームページ等

*そのほか、上記「5. 情報発信内容」に準じて、各関係機関と随時調整を図る予定

6. 登録者数(令和3年9月末日時点)

○ユーザー登録者数：242人（実人数）

20歳代 36人 30歳代 131人 40歳代 27人

50歳以上 8人 未登録 38人 不明 2人

※登録者内訳

・妊婦（42週まで）：34人（延べ人数）

・子ども（年齢別）：238人（延べ人数）

1歳未満 62人 1～6歳（就学前） 139人

7～12歳（小学生） 27人 13～15歳（中学生） 5人

16歳以上 5人